

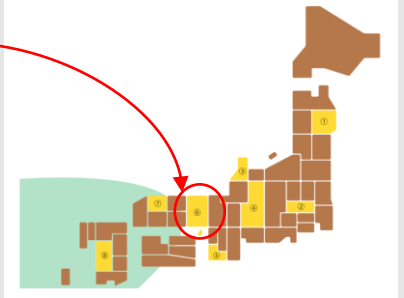
鳥獣被害対策アドベンチャー インターンシップ開催報告

日時

- 第1回 令和6年 12月8日(日)
- 第2回 令和7年 1月19日(日)
- 第3回 令和7年 2月8日(土)
- 第4回 令和7年 3月1日(土)

場所

兵庫県
丹波篠山市



受入先

NPO法人里地里山問題研究所
<https://satomon.jp/>

参加者の声



受入先(NPO法人里地里山問題研究所)QRコード

- ・ 行政、地元、働きかける団体の実際の協働を見学し、うまくいっているモデルケースだと感じました。囲い罫、電気柵について俄か知識でしたが、利点と問題点を、現場で説明していただき、本や映像では分からない事もリアルに感じ取れました。
- ・ 防護柵設置後数年だと思いますが、やはり倒木などでメンテナンスが必要な箇所があり、定期的な点検補修の必要性を知りました。反面、点検等の人手不足を抱えている現状に、都会の猟師が関わっていく、受け入れてもらえる余地があるのも分かり、今後の活動の参考になりました。



インターンシップスケジュール

第1回

獣がい対策実践塾参加
解体施設の見学

9:00~12:00

捕獲個体の有効活用と実態について学んだあと、鹿の一次処理、二次処理、出荷に向けた包装の見学を行いました。



ディスカッション

13:10~16:00

感じたこと、自分はいこれからどうしていくのかについて学生とともに意見交換し、発表を行いました。



第2回

フィールドワーク

10:00~11:00

鹿やイノシシ対策の現場を確認しながら、ICT大型捕獲檻・サル用電気柵の見学を行いました。



フィールドワーク

11:00~13:30

野生動物の潜み場をなくす森林整備の取り組みの見学や竹林の伐採・竹炭製作、スリングショット体験を行いました。



座学研修 13:30~15:00

捕獲や地域主体の獣害対策の成果と課題、地域の担い手不足を補う関係人口について学びました。

第3回

座学研修

9:00~12:00

・30歳以下人口ゼロ人の川阪集落での関係人口を活用した地域を元気にする獣がい対策プログラム「川阪オープンフィールド」の現状と課題について学びました。



フィールドワーク

13:00~16:00

川阪活性化委員会の山崎氏との意見交換を行った後、赤外線カメラ搭載のドローンによる鳥獣探索、参加者同士で感想共有を行いました。



第4回

現地実習

10:00~13:30

川阪での獣害対策現場の確認・解説を行いました。



現地実習

13:30~15:00

川阪活性化委員会と関係人口で構成される会議に参加し、関係人口が与える地域への効果について学びました。



最終振り返り

15:00~15:30

4日間のインターンシップで得たことを整理しました。